

## 「菅谷館跡（菅谷城）」を散策されるお客様へ

### 【おわびとお願い】

現在みられる菅谷館跡は、戦国時代に多郭式の城郭として築かれたところとされ、堀や土塁などの遺構がよく残っていることが特徴です。

館跡の見学のため、遊歩道を設けておりますが、その現状についてお知らせします。

夏場は、高温多湿のため雑草の繁茂が著しく、先月はヤマユリ見学にいらしたお客様から「雑草が伸びてユリがよく見えない」「もっと除草をしっかりとしてほしい」とのお叱りもいただきました。



当館では、皆さんに安全かつ快適に館跡を利用していただくため、除草や枯木の撤去などに努めていますが、限られた人手で広大な敷地内の整備を行うため、雑草の勢いに除草が追いつきません。

草が大人の背丈ほどまで伸び、除草のために人が入り込むこと自体が困難なところや、遊歩道が隠

れてしまいそうなところもあります。

特に今年の夏は記録的な猛暑続きのため、職員が屋外で除草作業を進めることが極めて困難な状況です。

菅谷館跡の景観保持と保全活用に努めることは、当博物館の重要な使命ですが、その使命を十分に果たせていない状況にあることについては誠に残念であり、心よりお詫びを申し上げます。

草の勢いが衰え、屋外での作業がしやすくなる秋以降、除草に努めてまいりますので、ご理解をお願いいたします。

こうした現状を踏まえ、館跡を散策される際には、次の項目に十分ご注意ください。お客様には、夏場の散策はお控えいただくことをお勧めいたします。

### 【草丈の伸びた草地に入らないでください。】

- 散策路が草で隠れているときは、通行を控えてください。
- 草丈の高い草むらに入り込むと、迷う恐れがあります。
- 草地の中では“草いきれ”で熱中症の危険性が高まります。
- ハチやダニ、ムカデ、ヘビ、毒虫等の被害にあう危険があります。
- 足元が見えず、窪地や池、堀に落ちる危険があります。
- 足元の切り株等に気づかず、ケガをする可能性があります。

菅谷館跡のような平城の「見ごろ」は、草が枯れて周囲の木々も葉を落とし、土塁や堀の形や構造がよく見える冬場がオススメです。

当館では、12月に「お城開き」イベントを計画しています。

ふだんは立入禁止としている土塁や堀に特別に立ち入りを認め、遺構の解説と清掃整備を行う予定です。

詳細は後日ホームページ等でご案内しますので、館跡散策もその時期にされてはいかがでしょうか。

